

日本地形学連合

JGU (Japanese Geomorphological Union)



設立: 1979年

事務局: 京都大学防災研究所内

趣旨

地球表層を構成する材料（岩石・土砂・水・生物等）の変質と移動に伴う地形および環境の変化過程の究明と、それに基づく災害の予測を目指し、地形学・水文学・地質学・地球物理学・地球化学等の地球科学諸分野と、土木工学・砂防学等の近隣分野の研究者が、研究討論する場を形成する。

活動

雑誌刊行: 機関紙「地形」を年4冊発刊。

学会開催: 日本地球惑星科学連合（JpGU）で定例セッションを実施、秋季大会の定期開催とそれに合わせた巡検・シンポジウムを不定期に催行。

若手向け勉強会: JGU夏の学校、年1回の座学と実習

アウトリーチ: 女子中高生夏の学校への参加協力

地形の成因や地形の変化過程の定量的理解は、山地から海岸に至る流域圏における災害に対する防災・減災を実現する上での最重要課題の一つ。

例えば、斜面における豪雨や地震に伴うマスマーブメントのような災害関連現象に対し、地形学では素因と誘因の両面から、分析的かつ総合的なアプローチで、また、多様な時空間的スケールでの研究を行う。こうした研究を通じて、地形変化に関する本質的理解の獲得と、モデル化によるその応用を目指す。これにより、時刻・場所・規模の三要素を満たす災害予測が可能になると考えている。



地球表層における自然現象としての地形変化によって生じた流域土砂災害の例

日本地形学連合は、地形変化とそれに伴う災害の諸相に関する学際的な研究コミュニティであり続け、地形学の学問的前進に伴って得られた科学的知見や技術的情報を関連諸分野に広く提供します。